

## 研究論文について

### (1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

### (2) 審査のスケジュール

#### ◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第11回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。

2016年5月31日 応募締め切り。応募総数45題。

#### ◇研究論文投稿

2016年6月30日 投稿締め切り。投稿総数27編。

#### ◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2016年7月8日～7月29日 27編について、査読者による審査。

2016年8月8日 一次判定会議開催。採用1編、再提出26編を判定。

#### ◇再提出投稿

2016年9月5日 再提出締め切り。再提出25編。1編は再提出を辞退。

#### ◇二次審査

2016年9月7日～9月20日 査読者による二次審査。

2016年9月23日 最終判定会議開催。採用20編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用21編、不採用5編。

### (3) 審査の概要

#### ◇形式審査

投稿論文（27編）について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

#### ◇一次審査

投稿論文（27編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」1編、「採用+再提出」4編、「再提出+再提出」17編、「再提出+不採用」3編、「採用+不採用」2編であった。

このうち、「再提出+不採用」3編と「採用+不採用」2編について、運営幹事会において採否の審議を慎重に行い、5編すべてを再提出とした。以上の結果、採用1編、再提出26編となった。

#### ◇二次審査

再提出論文（25編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」20編、「採用+不採用」5編であった。このうち「採用+不採用」5編について、運営幹事会において採否の審議を慎重に行い、5編すべてを不採用とした。以上より、一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用21編、不採用5編となった。

#### (4) 報告会の運営

##### ① 幹事 (五十音順)

碓田智子 (大阪教育大学)	梅本舞子 (千葉大学)
岡絵理子 (関西大学)	小山雄資 (鹿児島大学)
鈴木雅之 (千葉大学)	関川 華 (岡山大学)
瀬沼頼子 (昭和女子大学)	高井宏之 (名城大学)
友渕貴之 (和歌山大学)	長谷川洋 (国土技術政策総合研究所)
平田隆行 (和歌山大学)	藤岡泰寛 (横浜国立大学)
前田昌弘 (京都大学)	松浦健治郎 (千葉大学)
宮原真美子 (日本女子大学)	山口秀文 (神戸大学)
山本幸子 (筑波大学)	

##### ② 査読者 (五十音順)

新井信幸 (東北工業大学)	市古太郎 (首都大学東京)	岩佐明彦 (法政大学)
碓田智子 (前掲)	内田奈芳美 (埼玉大学)	
内海康也 (国土政策技術総合研究所)	梅本舞子 (前掲)	岡絵理子 (前掲)
岡本浩一 (北海学園大学)	岡本 肇 (中部大学)	川田菜穂子 (大分大学)
神吉優美 (奈良県立大学)	菊地吉信 (福井大学)	菊池義浩 (岩手大学)
倉知 徹 (新潟工科大学)	小山雄資 (前掲)	近藤民代 (神戸大学)
佐久間康富 (大阪市立大学)	鈴木雅之 (前掲)	関川華 (前掲)
瀬沼頼子 (前掲)	高井宏之 (前掲)	田中友章 (明治大学)
野原卓 (横浜国立大学)	長谷川洋 (前掲)	花里俊廣 (筑波大学)
平田隆行 (前掲)	藤岡泰寛 (前掲)	前田昌弘 (前掲)
松浦健治郎 (前掲)	宮原真美子 (前掲)	山口秀文 (前掲)
山崎寿一 (神戸大学)	山本幸子 (前掲)	

以上